

1 1 タイル工事		特 記 事 項										
1 陶磁器質タイル張り	タイルの種類										(11・2・1)	備考
	施工箇所	形状寸法	きじ		釉薬		役物		色			
			磁器	せつ晶	陶器	無釉	施釉	有り	無し	標準	注文	
標準曲がりの役物は、一体成形とする。												
タイルの見本焼き												
・行う												
・行わない												
2 壁タイル張りの工法	内装タイル	・壁タイル接着剤張り									(11・3・3)	
	外装タイル	・積み上げ張り										
	タイルの試験張り	・密着張り									(11・3・3)	
		・マスク張り										
		・行う									(11・3・3)	
		・行わない										
3 陶磁器質タイル型枠 先付け工法	(11・4・2) (表11・4・1)											
	種 別	適用タイル				タイル先付け面のせき板						
	タイルシート法											
	冒地敷法											
	殊太法											

1 2 木 工 事		特 記 事 項																					
① 表面 仕 上 げ	※A種 ・ B種 ・ C種	(12・1・4) (表12・1・1)																					
② 木 材 の 品 質	※A種 ・ B種	(12・2・1) (表12・2・1)																					
③ 造作材の等級	※A種 ・ B種	(12・2・1) (表12・2・2)																					
④ 木 材 の 樹 種	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所（造作材）</th> <th>樹 種</th> <th>施工箇所（構造材）</th> <th>樹 種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>腰壁</td> <td>杉</td> <td>土台</td> <td>檜</td> </tr> <tr> <td>建具</td> <td>杉</td> <td>柱</td> <td>檜、杉</td> </tr> <tr> <td>建具三方枠</td> <td>檜</td> <td>床</td> <td>米松、檜、杉</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>母屋</td> <td>杉</td> </tr> </tbody> </table> <p>図面及び上記に記入のない樹種は「共通仕様書」による。</p>		施工箇所（造作材）	樹 種	施工箇所（構造材）	樹 種	腰壁	杉	土台	檜	建具	杉	柱	檜、杉	建具三方枠	檜	床	米松、檜、杉			母屋	杉	(12・2・1) (表12・2・3)
施工箇所（造作材）	樹 種	施工箇所（構造材）	樹 種																				
腰壁	杉	土台	檜																				
建具	杉	柱	檜、杉																				
建具三方枠	檜	床	米松、檜、杉																				
		母屋	杉																				
⑤ 代 用 樹 種	◎可 ・ 不可		(12・2・1) (表12・2・3)																				
6 集 成 材	構造材用集成材 単板の樹種 () 厚さ () mm 造作材用集成材 単板の樹種 () 厚さ () mm 化粧梁用集成材 単板の樹種 () 厚さ () mm		(12・2・2) (12・2・2) (12・2・2)																				
⑦ 防 腐 処 理	[図面]による。		(12・2・8)																				
8 防 蝕 処 理	◎見え隠れ部分の抱水面上に接する部分、及び地盤より1m以内の部分に行う。		(12・2・9)																				
⑨ 防 虫 処 理	[図面]による。		(12・2・10)																				
⑩ 床 板 張 り	工法は、表12・5・1による。		(12・5・1)																				
⑪ 壁及び天井下地	工法は、表12・6・2による。		(12・6・1)																				

13 屋根 及び とい 工事	特 記 事 項	
① 長尺金属板葺	長尺金属板の種類 ◎ガルバリウム鋼板—文字葺き (厚さ 0.4) mm ・溶融アルミニウムめっき鋼板 (厚さ) mm ・ポリ塩化ビニル被覆金属板 (厚さ) mm ・塗装ステンレス鋼板 (厚さ) mm	(13・2・2) (表13・2・1)
2 石綿スレート葺	屋根葺き工法に応じた専門工事行の仕様による。	
3 ファワドシingle 葺き	屋根葺き工法に応じた専門工事行の仕様による。	
4 折 版 葺 き	材料 ・カラー亜鉛鉄板 (厚さ) mm ・アルミめっき鋼板 (厚さ) mm ・塩ビ鋼板 (厚さ) mm ・NS耐酸被覆鋼板 (厚さ) mm ・カラーアルミ (厚さ) mm ・カラーステンレス鋼板 (厚さ 0.8) mm 工法 ・折板製造所の仕様による。	
5 と い	材種 ・配管用鋼管 ※緩質塩化ビニル管 ・カラスステンレス管 鋼管装といの防露 ・行う (既存室内露出部分) 掃除口 ・有り ・無し 軒樋 ※緩質塩化ビニル製 塗装 ・行う ※行わない	(13・5・2)
6 ルーフドレイン	鉄鉄製 ・図示による (既存撤去復旧)	

1.4 金 属 工 事

1 ステンレスの
表面仕上げ

種 類

施 工 箇 所

・ H L 程度

・ No2B 程度

・ 鏡面仕上げ

2 アルミニウム及び
アルミニウム合金
の表面仕上げ

種別

Aー・1種
Cー・1種

・ 2種
・ 2種

Bー・1種
・ D種

(14・2・2)

3 鉄鋼の亜鉛めっき

(14・2・3) (表14・2・2)

表面処理方法

種 別

最小板厚 (mm)

施 工 箇 所

溶融亜鉛めっき

・ A 種

4.5以上

・ B 種

3.2以上

・ C 種

1.6以上

・ D 種

—

電気亜鉛めっき

・ E 種

—

・ F 種

—

4 軽量鉄骨天井下地

野縁の種類

(14・4・2) (表14・4・1)

屋内

・ 19型

・ 25型

屋外

・ 19型

・ 25型

天井点検口等の開口補強は、本体工事に含む。

5 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナー等の種類

(14・5・2) (表14・5・1)

・ 65型

・ 90型

・ 100型

開口補強及び設備機器等の取り付け下地は、本体工事に含む。

6 金属成形板張り

(14・6・2)

形 状

製 法

材 質

厚 (mm)

表面処理

・ スパンドレル形

・ 押出し

Bー・1種・2種

・ パネル形

・ プレス

Bー・1種・2種

7 アルミニウム製笠木

(14・7・2)

種 類

板厚 (mm)

表面処理

備 考

・ 150形

・ 0.45

Bー・1種・2種

・ 200形

⑧ 手 す り

材質

・ ステンレス

・ アルミ

◎西国化成工業㈱
手すり：セイフティビーム(2段)S U 型同等

9 タ ラ ッ プ

材質

・ ステンレス

・ アルミ

・ 図示による

⑩ 天 井 点 検 口

・ アルミ既製品

・ 300×300

◎450×450

・ 600×600

⑪ 床 下 点 検 口

アルミ既製品

・ 450×450

・ 600×600

ステンレス既製品

・ 450×450

◎600×600

12 水切りマット

材質

・ ステンレス製

・ アルミ製

・ ゴム製

・ ビニル製

13 鋼 製 床 組

材質

・ 鋼製(製造所：)

14 エキスパンジョイント

材質

・ ステンレス製

・ アルミ製

15 左 官 工 事		特 記 事 項			
① モルタル塗り		(15・2・2) (表15・2・2)			
	下 地	施工箇所	塗厚の標準値 (mm)	備 考	
	コンクリート	・ 床	3 0		
	ブロック	・ 内壁	2 0		
	煉 瓦	・ 外壁その他	2.5 以下		
	ラスシート	・ 内壁	1 5		
	ワイヤラス	・ 外壁	2 0		
材料		◎吸水調整剤 ◎防水材			
2 床コナリ直均し仕上げ	[共通仕様書]による。				
3 セルフレベリング材 塗り	(15・4・3)				
	種 類 ・ 石こう系 ※セメント系	塗 厚 ※10 ※20	施工箇所 基礎・天端		
4 軽量骨材仕上塗材吹付	種類 厚さ	吹付け用軽量骨材仕上塗材 ・ 5mm			
5 ロックウール吹付け	種類 厚さ	・ 一般用 ・ 35mm ・ 40mm ・ 45mm			
6 外部建具周囲充填 モルタル	防水材及び浸蝕防止剤を用いる。				
7 目 地	ブロック下地のモルタル面は、ブロックの目地に合わせ、2mm以内及びR Cとの取合 いで目地切りを行う。外部はシーリングを行う。				

8 仕上塗材仕上げ		(15・5・2) (表15・5・1)	
種 類	呼び名	仕上げの形状等	
・薄付仕上げ仕上塗材	・外装薄塗材 E	・砂壁状	・着色骨材砂壁状
	・内装薄塗材 E	・砂壁状じれらく	
	・可とう形外装薄塗材 E	・砂壁状	・ゆず肌状 ・さざ波状
	・防水形外装薄塗材 E	・ゆず肌状 ・さざ波状	・凹凸模様
	・外装薄塗材 S	・砂壁状	
・複層仕上塗材	・内装薄塗材 W	・京壁状じれらく	
	・複層塗材 C E	・ゆず肌状 ・凸部処理	・凹凸模様
	・可とう形外装薄塗材	耐候性	・3種
	・複層塗材 S I	上塗材	
	・複層塗材 E	溶媒	・水系 ・溶剤系
・複層仕上塗料	・複層塗材 R E	樹脂	・アクリル系
	・複層塗材 R S		
	・防水形複層塗材 C E	外観	・つやあり ・つやなし
	・防水形複層塗材 E	ゆず肌状 ・凸部処理	・凹凸模様
	・防水形複層塗材 R S	防水形の増塗料	・行
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	・砂壁状	
	・こて専用軽量塗材	・平たん状	

16 建具工事		特 記 事 項			
1 アルミニウム製建具	外部に面する建具				(16・2・2) (表16・2・1)
	種 別	耐風圧性	気密性	水密性	検査項目 (mm)
	・ A種	S-4	A-3	W-4	7 0
	※ B種	S-5			
	・ C種	S-6	A-4	W-5	1 0 0
	表面処理 B-2着色				
屋内建具					
表面処理 無着色陽極酸化皮膜					
2 網 戸	形式	※外面可動式		※固定式	
	網の種類	・合成樹脂製		・ステンレス製	
3 鋼 製 建 具	簡易気密型ドアセット性能値				(16・3・2) (表16・3・1)
・適用する					・適用しない
製品の寸法許容差					・製造所標準製作規格寸法許容差による (表16・3・3)及び(表16・3・4)による
4 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセット性能値				(16・4・3) (表16・4・1)
・適用する					・適用しない
製品の寸法許容差					・製造所標準製作規格寸法許容差による (表16・4・1)による
5 ステンレス製建具	製品の寸法許容差				(16・5・3) (16・5・5)
・製造所標準製作規格寸法許容差による					
表面仕上げ					・H1仕上げ ・鏡面仕上げ 曲げ加工 ・普通曲げ ・角出し曲げ
⑥ 木 製 建 具	材 料				(16・6・2) (表16・6・1)
種 別					建築材の加工及び組立時の含水率(質量百分率)
A 種					1.5%以下
◎ B 種					天然乾燥1.8%以下、人工乾燥1.5%以下
C 種					1.8%以下
表面材 ◎合板 ・ビニル紙					
⑦ 建 具 金 物	マスターキー ◎作成する				(16・7・2) (表16・7・1)
種 類					見え掛かり部材質
シンリンダー箱錠					※ステンレス ・アルミ合金 ・亜鉛合金 ・銅
本締り錠					※ステンレス ・アルミ合金 ・亜鉛合金 ・銅
空錠					・ステンレス ・アルミ合金 ・亜鉛合金 ・銅
機錠					※ステンレス ・アルミ合金 ・亜鉛合金 ・銅
クレセント					※ステンレス ・アルミ合金 ・亜鉛合金 ・銅
フロアヒンジ					※ステンレス ・アルミ合金 ・亜鉛合金 ・銅
丁番					※ステンレス ・アルミ合金 ・亜鉛合金 ・銅
ドアローゼー					※ステンレス ・アルミ合金 ・亜鉛合金 ・銅
⑧ ガラス	品 種				(16・13・2)
種 類					
合わせガラス					◎ フロート合わせガラス ・型板合わせガラス
強化ガラス					◎フロート強化ガラス ◎型板強化ガラス
複層ガラス					◎ フロート複層ガラス ・型板複層ガラス
ガラス止め材 ◎シーリング ・ガスケット					
9 重量シャッター	開閉形式				(16・10・2)
開閉形式		駆動方法		操 作	
・上部電動式		ローラーチェーン又は歯車による		押しボタンによる巻上げ、降下及び停止	
・上部手動式		ローラーチェーンによる		銀、ハンドルによる巻上げ、降下用ひもによる自巻降下	
材質 ステンレス (SUS304) ヘアライン仕上					
10 軽量シャッター	開閉形式				(16・11・2)
開閉形式		駆動方法		操 作	
・上部電動式		電動機及び電動機とスプリング併用		押しボタンによる巻上げ、降下及び停止	
※上部手動式		スプリング		手動	